

令和4年度 施設分析シート

I 施設の概要		施設コード	S07-02-01		
施設名	清掃リサイクル事務所				
所在地	町屋五丁目19番1号				
部課名	環境清掃部清掃リサイクル推進課				
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容 (単位:千円)		
	建築	219,907	国・都	区債	一般財源
	増改築①	-			
併設施設					
竣工年月日	昭和45年7月		区職員	その他	
供用開始年月日	昭和45年7月		職員数	76人	
構造	鉄筋コンクリート造		階層	新館:地上3階 旧館:地上4階	
面積	敷地面積			1,855 m ²	
	延床面積		新館:735.85m ² 旧館:1082.75m ²	m ²	
設置目的・経緯	廃棄物の収集・運搬等の作業 ※清掃事業の区移管(平成12年4月)				
関連部署	環境課				
根拠法令等 設置条例	廃棄物の処理及び清掃に関する法律 荒川区廃棄物の処理及び再利用に関する条例等				
駐車場の状況	有	バリアフリー	○エレベーター	○トイレ	
駐輪場の状況	有	対応状況	○点字ブロック	○スロープ	



II 管理運営の状況

管理形態	直営	—	期間	—	から まで
事業内容	廃棄物の収集・運搬等の作業、清掃車両駐車スペース、清掃リサイクル業務従事職員の執務室・来庁者対応窓口等				
対象者	清掃リサイクル推進課職員、区民・事業者				
運営時間等	運営時間	午前7時40分～午後5時15分			
	休日	日曜日、年末年始の指定日			

施設基本データ等		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度(見込み)
	作業(開所)日数(日)		309	311	310	310
電気使用量(kwh)		86,635	87,541	83,746	82,842	-
ガス使用量(m3)		28,770	28,988	32,576	32,202	-
水道使用量(m3)		6,048	6,455	6,172	5,991	-
に指定 用係等 管理 費理						

備考 電気、ガス、水道の使用量はほぼ横ばいである。

III 財務諸表

(単位:千円)

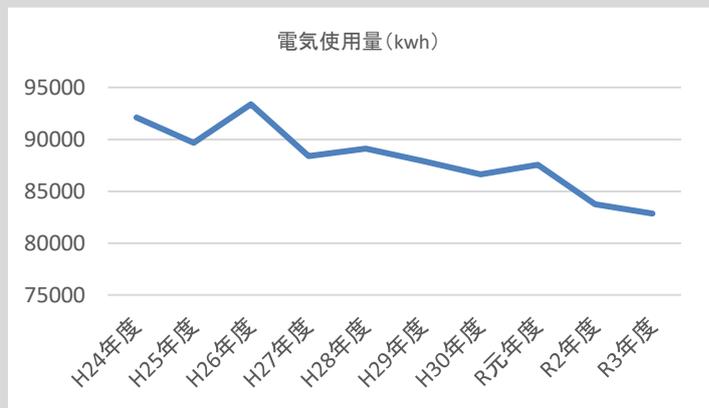
行政コスト計算書	勘定科目	R2年度	R3年度	差額	勘定科目	R2年度	R3年度	差額		
	行政費用	給与関係費	574,191	578,578	4,387	行政収入	地方税等	0	0	
	物件費	21,844	22,126	282		国庫支出金	0	0		
	維持補修費	982	1,102	120		都支出金	0	0		
	扶助費	0	0	0		分担金及び負担金	0	0		
	補助費等	0	0	0		使用料及び手数料	149	155		
	減価償却費	3,138	3,760	622		その他	102	110		
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0		行政収入合計(a)	251	265		
	賞与・退職給与引当金繰入額	133,448	116,855	▲16,593		行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲733,352	▲722,156		
	その他行政費用	0	0	0		金融収支差額(d)	0	0		
	行政費用合計(b)	733,603	722,421	▲11,182		通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲733,352	▲722,156		
	特別費用(g)	0	0	0		特別収入(f)	0	0		
	特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0		当期収支差額(e)+(h)	▲733,352	▲722,156		
貸借対照表	勘定科目	R2年度	R3年度	差額	勘定科目	R2年度	R3年度	差額		
	流動資産	収入未済	0	0	0	流動負債	33,324	32,023	▲1,301	
		不納欠損引当金	0	0	0		還付未済金	0	0	
		その他の流動資産	0	0	0		特別区債	0	0	
	固定資産	有形固定資産	371,517	374,760	3,243		賞与引当金	33,324	32,023	
			土地	326,611	326,611	0		その他の流動負債	0	0
			建物	241,917	248,093	6,176		固定負債	621,404	679,956
			建物減価償却累計額	▲197,012	▲199,944	▲2,932		特別区債	0	0
			工作物等	3,749	3,749	0		退職給与引当金	621,404	679,956
			工作物等減価償却累計額	▲3,749	▲3,749	0		その他の固定負債	0	0
	無形固定資産	0	0	0		負債の部合計	654,728	711,979		
	建設仮勘定	0	0	0		正味財産	▲283,005	▲335,871		
	その他の固定資産	206	1,348	1,142		正味財産の部合計	▲283,005	▲335,871		
	資産の部合計	371,723	376,108	4,385		負債及び正味財産の部合計	371,723	376,108		

備考 物件費は庁舎管理に係る経費で、維持補修費は設備等に係る経費である。行政収入の「使用料及び手数料」は、労働組合事務室や公衆電話等の使用料で、「その他」は自動販売機等の電気等使用料である。建物資産の増は弱電改修工事によるものである。「その他の固定資産」は重要物品(清掃車両等)の減価償却後の現在価格である(公会計情報整理後)。

	指標	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率(%)	76.0	76.0	81.7	80.9	-
	1㎡あたりコスト(円)	381,895	381,895	403,389	397,240	-
備考	令和3年度の1㎡あたりコストは、前年度に比べ6,149円の減であった。					

IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 (計画名:)					
目標指標	指標名・単位	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度(見込み)
	目標値 実績値					
施設運営の方向性	<input type="radio"/> 転用・多目的化 <input type="radio"/> 民営化 <input type="radio"/> 他施設との統合 <input type="radio"/> 廃止 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> その他()					
管理形態の変更の推移	<input type="radio"/> 有 (変更内容:) <input checked="" type="radio"/> 無					
利用者・地域のニーズ						
現状・課題	<p>○他の公共施設に比べ経過年数の長い施設であり、引き続き大規模改修を計画的に実施するとともに、予防保全の観点から不具合が発生しないよう、修繕等を計画的に実施する必要がある。</p> <p>○廃棄物収集・運搬に係る区職員の減少の代替となる雇上会社清掃車両等が待機するスペースが、将来的に不足する可能性がある。</p>					
課題に対する現時点での考え	<p>○公共施設等総合管理計画等に基づく計画的な大規模改修を実施するとともに、施設・設備の保守点検等の維持管理を適切に実施するほか、修繕等により機能保全を継続する。</p> <p>○南千住清掃車庫の有効活用を図り、清掃車両等の待機スペースの確保に努めていく。</p>					
議会、利用者等からの意見						



令和4年度 施設分析シート

I 施設の概要		施設コード	S07-02-02		
施設名	南千住清掃車庫				
所在地	南千住四丁目1番8号				
部課名	環境清掃部清掃リサイクル推進課				
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容 (単位:千円)		
	建築	平成12年2月	380,197	国・都	区債
	増改築①				一般財源
	増改築②				
併設施設					
竣工年月日	平成12年2月		区職員	その他	
供用開始年月日	平成12年4月		職員数	8人	
構造	鉄骨造		階層	管理棟:地上3階 洗車棟:平屋	
面積	敷地面積	1,900 m ²			
	延床面積	管理棟:994.80m ² 洗車棟:123.52m ²			
設置目的・経緯	廃棄物の収集・運搬に使用する清掃車両の駐車・点検整備等 ※清掃事業の区移管(平成12年4月)				
関連部署	環境課				
根拠法令等 設置条例	廃棄物の処理及び清掃に関する法律 荒川区廃棄物の処理及び再利用に関する条例等				
駐車場の状況	有	バリアフリー	●エレベーター	●トイレ	
駐輪場の状況	有	対応状況	●点字ブロック	○スロープ	



II 管理運営の状況

管理形態	直営	—	期間	—	から まで
事業内容	廃棄物の収集・運搬に使用する清掃車両駐車スペース、清掃車両の点検整備・洗車業務、運転業務等従事職員の執務室等				
対象者	清掃リサイクル推進課職員、区民・事業者				
運営時間等	運営時間	午前7時40分～午後4時25分			
	休日	日曜日、年末年始の指定日			

施設基本データ等		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度(見込み)
	作業(開所)日数(日)		309	311	310	310
電気使用量(kwh)		94,356	89,931	97,630	95,961	—
ガス使用量(m3)		6,020	8,001	7,356	7,118	—
水道使用量(m3)		2,015	2,124	1,969	1,943	—
に指定 等管理 費理						

備考 電気、ガス、水道の使用量はほぼ横ばいである。

III 財務諸表

(単位:千円)

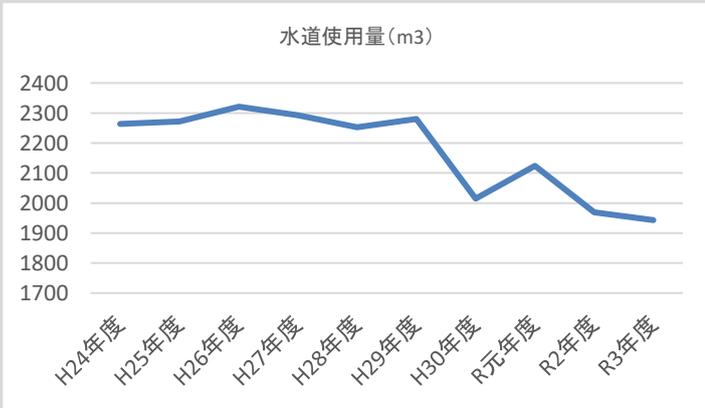
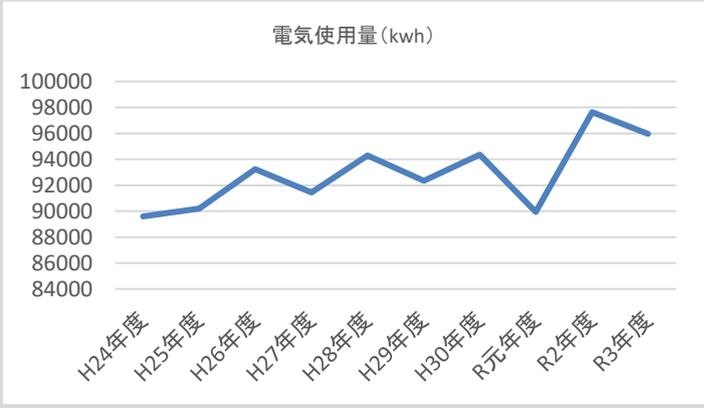
行政コスト計算書	勘定科目	R2年度	R3年度	差額	勘定科目	R2年度	R3年度	差額
	行政費用	給与関係費	59,077	60,057	980	地方税等	0	0
	物件費	8,106	7,649	▲457	国庫支出金	0	0	0
	維持補修費	1,736	496	▲1,240	都支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
	補助費等	0	0	0	使用料及び手数料	64	64	0
	減価償却費	12,546	15,509	2,963	その他	55	90	35
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	119	154	35
	賞与・退職給与引当金繰入額	13,730	12,130	▲1,600	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲95,076	▲95,687	▲611
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0
	行政費用合計(b)	95,195	95,841	646	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲95,076	▲95,687	▲611
	特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0
	特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲95,076	▲95,687	▲611
貸借対照表	勘定科目	R2年度	R3年度	差額	勘定科目	R2年度	R3年度	差額
	流動資産	収入未済	0	0	0	流動負債	3,429	3,288
	不納欠損引当金	0	0	0	還付未済金	0	0	0
	その他の流動資産	0	0	0	特別区債	0	0	0
固定資産	有形固定資産	866,048	852,976	▲13,072	賞与引当金	3,429	3,288	▲141
	土地	733,400	733,400	0	その他の流動負債	0	0	0
	建物	396,125	396,125	0	固定負債	63,934	69,954	6,020
	建物減価償却累計額	▲263,476	▲276,548	▲13,072	特別区債	0	0	0
	工作物等	64,856	64,856	0	退職給与引当金	63,934	69,954	6,020
	工作物等減価償却累計額	▲64,856	▲64,856	0	その他の固定負債	0	0	0
無形固定資産	0	0	0	負債の部合計	67,363	73,242	5,879	
建設仮勘定	0	0	0	正味財産	798,685	779,734	▲18,951	
その他の固定資産	0	0	0	正味財産の部合計	798,685	779,734	▲18,951	
資産の部合計	866,048	852,976	▲13,072	負債及び正味財産の部合計	866,048	852,976	▲13,072	

備考 物件費は庁舎管理に係る経費で、維持補修費は設備等の経費である。減価償却費の増は外壁改修工事等によるものである。行政収入の「使用料及び手数料」は敷地内へのマンホール・電柱の占用に係る使用料で、「その他」は自動販売機・コミュニティバス乗務員控室の電気等使用料である。「その他の固定資産」は重要物品の減価償却後の現在価格である。

	指標	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率(%)	65	65.3	71.2	74.1	-
	1㎡あたりコスト(円)	93,879	93,879	85,123	85,701	-
備考	令和3年度の1㎡あたりコストは、前年度に比べ578円の増であった。					

IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名:)					
目標指標	指標名・単位	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度(見込み)
	目標値 実績値					
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ○ 現状維持 ○ 民営化 ○ その他() ○ 他施設との統合 ○ 廃止					
管理形態の変更の推移	○ 有 (変更内容:) ● 無					
利用者・地域のニーズ	地元町会への施設開放等					
現状・課題	○竣工から約20年が経過し、引き続き大規模改修を計画的に実施するとともに、予防保全の観点から不具合が発生しないよう、修繕等を計画的に実施する必要がある。 ○保有清掃車両台数及び職員数の減少に伴い、施設のさらなる有効活用を検討していく必要がある。					
課題に対する現時点での考え	○公共施設等総合管理計画等に基づく計画的な大規模改修を実施するとともに、施設・設備の保守点検等の維持管理を適切に実施するほか、修繕等により機能保全を継続する。 ○感染防止対策・熱中症対策を目的とした雇上会社清掃車両等の待機場所としての活用を継続し、今後、リサイクル関連物品の保管スペースや将来的な清掃リサイクル事務所における駐車スペース不足への対応等、さらなる有効活用を検討していく。					
議会、利用者等からの意見						



令和4年度 施設分析シート

I 施設の概要		施設コード	S07-02-04			
施設名	尾竹橋施設					
所在地	荒川区町屋7丁目16番21号					
部課名	環境清掃部清掃リサイクル推進課					
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容 (単位:千円)			
	建築	平成7年12月	48,452	国・都	区債	一般財源
	増改築①					
	増改築②					
併設施設						
竣工年月日	平成7年12月		区職員	その他		
供用開始年月日	平成12年7月		職員数	0	0	
構造	鉄筋コンクリート造		階層	地上2階		
面積	敷地面積			3,235.85	m ²	
	延床面積			554	m ²	
設置目的・経緯	リサイクル事業用品の保管に使用していたが、令和4年3月末 日で作業所の廃止、防災都市づくり部に公有財産の移管済					
関連部署	土木管理課、基盤整備課					
根拠法令等 設置条例	なし					
駐車場の状況	無	バリアフリー	○エレベーター	○トイレ		
駐輪場の状況	無	対応状況	○点字ブロック	○スロープ		



II 管理運営の状況

管理形態	直営	-	期間	-	から まで	
事業内容	(仮称) 町屋公園の拡張区域として活用予定					
対象者	区民					
運営時間等	運営時間					
	休日					
施設基本データ等		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度(見込み)
	電気使用量(kw)	538	847	336	646	-
	水道使用量(m3)	1	3	1	11	-
に指定 等管理 費理						
備考	令和3年度はごみ排出原単位等実態調査(回収サンプルごみの内容詳細調査)の実施等のため、電気、水道使用量が増大した。					

III 財務諸表

(単位:千円)

	勘定科目			R2年度	R3年度	差額	勘定科目			R2年度	R3年度	差額
	行政コスト計算書	行政費用	行政収入				行政収入合計(a)	行政収支差額(a)-(b)=(c)	金融収支差額(d)			
	給与関係費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	物件費	844	721	▲123	0	0	0	0	▲3,754	▲3,631	123	
	維持補修費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	扶助費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	補助費等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	減価償却費	2,910	2,910	0	0	0	0	0	0	0	0	
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	賞与・退職給与引当金繰入額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他行政費用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	行政費用合計(b)	3,754	3,631	▲123	0	0	0	0	▲3,754	▲3,631	123	
	特別費用(g)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	0	0	0	0	▲3,754	▲3,631	123	
貸借対照表	勘定科目			R2年度	R3年度	差額	勘定科目			R2年度	R3年度	差額
	流動資産	収入未済	0	0	0	0	流動負債	0	0	0	0	
	不納欠損引当金	0	0	0	0	還付未済金	0	0	0	0		
	その他の流動資産	0	0	0	0	特別区債	0	0	0	0		
	有形固定資産	611,469	608,559	▲2,910	0	賞与引当金	0	0	0	0		
	土地	561,895	561,895	0	0	その他の流動負債	0	0	0	0		
	建物	107,770	107,770	0	0	固定負債	0	0	0	0		
	建物減価償却累計額	▲58,196	▲61,106	▲2,910	0	特別区債	0	0	0	0		
	工作物等	13,330	13,330	0	0	退職給与引当金	0	0	0	0		
	工作物等減価償却累計額	▲13,330	▲13,330	0	0	その他の固定負債	0	0	0	0		
	無形固定資産	0	0	0	0	負債の部合計	0	0	0	0		
	建設仮勘定	0	0	0	0	正味財産	611,469	608,559	▲2,910	0		
	その他の固定資産	0	0	0	0	正味財産の部合計	611,469	608,559	▲2,910	0		
	資産の部合計	611,469	608,559	▲2,910	0	負債及び正味財産の部合計	611,469	608,559	▲2,910	0		
備考	行政費用の物件費は、施設の機械警備や樹木剪定、害虫駆除に係る委託料等である。											

	指標	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率(%)	50	49.5	59.1	61.5	
	1㎡当たりコスト(円)	6,878	6,860	6,777	6,555	
備考	令和3年度は前年度に比べ、1㎡あたりのコストは222円の減であった。					

IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名:)					
目標指標	指標名・単位	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度(見込み)
	-	目標値	-			
		実績値	-			
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ○ 現状維持 ○ 民営化 ○ その他() ○ 他施設との統合 ● 廃止					
管理形態の変更の推移	● 有 (変更内容: 令和4年3月末で作業所の廃止届を提出、公有財産の移管を行った) ○ 無					
利用者・地域のニーズ						
現状・課題	○平成12年度に清掃事業の移管に伴い東京都から譲渡された施設。移管後20年間(令和元年度末まで)は清掃関連の施設として使用する必要があったが、家具のリユース等の開催や、備品の保管等で活用してきた。 ○用途指定期間終了後の活用として、都市公園の整備用地への転用が検討されてきたが、令和3年4月15日付で、敷地すべてが(仮称)町屋公園の拡張区域となる旨の都市計画決定がされた。 ○令和4年3月末で、尾竹橋施設は作業所として廃止届を提出し、防災都市づくり部への財産移管が行われた。					
課題に対する現時点での考え	○令和4年度以降は、防災都市づくり部で(仮称)町屋公園の区域として活用される予定。					
議会、利用者等からの意見	平成26年度予算特別委員会 「有効活用の検討」					

令和4年度 施設分析シート

I 施設の概要		施設コード	S07-02-03		
施設名	あらかわりサイクルセンター				
所在地	荒川区南千住三丁目28番69号				
部課名	環境清掃部清掃リサイクル推進課				
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容 (単位:千円)		
			国・都	区債	一般財源
	建築	平成28年 862,058			862,058
	増改築① 増改築②				
併設施設	-				
竣工年月日	平成28年9月16日		区職員	その他	
供用開始年月日	平成28年10月10日		職員数	5	
構造	鉄骨造		階層	2階	
面積	敷地面積			1,999 m ²	
	延床面積			1,578 m ²	
設置目的・経緯	資源の長期的かつ安定した中間処理や資源の処理工程の見学、体感学習等の普及啓発事業を行う。				
関連部署					
根拠法令等 設置条例	廃棄物処理法第6条の2第1項 容器包装リサイクル法第6条第1項				
駐車場の状況	2	バリアフリー	● エレベーター	● トイレ	
駐輪場の状況	20	対応状況	● 点字ブロック	○ スロープ	



II 管理運営の状況

管理形態	直営	-	期間	-	から まで	
事業内容	(1) 区内から回収した資源（びん、缶、トレイ、ペットボトル）の中間処理 (2) 区内の小学校及び町会等の施設見学会の実施 (3) リサイクル資源を使った工房・教室の実施					
対象者	区民					
運営時間等	運営時間	午前8時30分～午後5時15分				
	休日	日曜日、年末年始				
施設基本データ等		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度（見込み）
	開館日数	308	310	310	310	310
	来場者数（団体見学、工房等）	3,748	2,860	212	2,244	2,430
	工房・教室回数	111	68	39	61	69
	工房・教室参加者数	624	351	127	239	330
	工房・教室参加率（%）	62	60	85	88	80
	施設見学実施小学校数	24	24	0	24	24
	資源中間処理量（t）	2,654	2,710	2,949	2,947	2,938
に指定 に係る 等管理 費理						
備考	平成29年度から区内小学校全24校の施設見学を実施している。 (令和2年度は感染症拡大防止のため施設見学会は中止、工房・教室は実施規模を縮小。) 資源中間処理量は令和元年度まで微増であったが、令和2年度は増加幅が大きく、その状態が続いている。					

III 財務諸表

(単位:千円)

	勘定科目				R2年度	R3年度	差額	勘定科目				R2年度	R3年度	差額
	行政コスト計算書	行政費用	行政収入	特別費用				行政収入合計(a)	行政収支差額(a)-(b)=(c)	金融収支差額(d)	通常収支差額(c)+(d)=(e)			
	給与関係費	25,030	25,243	213	地方税等	0	0	0						
	物件費	24,134	33,345	9,211	国庫支出金	0	0	0						
	維持補修費	816	409	▲ 407	都支出金	0	0	0						
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0						
	補助費等	103	103	0	使用料及び手数料	756	697	▲ 59						
	減価償却費	36,468	36,468	0	その他	56	62	6						
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	812	759	▲ 53						
	賞与・退職給与引当金繰入額	5,817	5,098	▲ 719	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 91,556	▲ 99,907	▲ 8,351						
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	▲ 413	▲ 376	37						
	行政費用合計(b)	92,368	100,666	8,298	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 91,969	▲ 100,283	▲ 8,314						
	特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0						
	特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 91,969	▲ 100,283	▲ 8,314						
貸借対照表	勘定科目				R2年度	R3年度	差額	勘定科目				R2年度	R3年度	差額
	流動資産	収入未済	0	0	0	流動負債	37,637	37,603	▲ 34					
		不納欠損引当金	0	0	0	還付未済金	0	0	0					
		その他の流動資産	0	0	0	特別区債	36,184	36,221	37					
	固定資産	有形固定資産	688,557	652,089	▲ 36,468	賞与引当金	1,453	1,382	▲ 71					
		土地	0	0	0	その他の流動負債	0	0	0					
		建物	767,791	767,791	0	固定負債	376,335	342,429	▲ 33,906					
		建物減価償却累計額	▲ 138,008	▲ 172,510	▲ 34,502	特別区債	349,247	313,026	▲ 36,221					
		工作物等	66,636	66,636	0	退職給与引当金	27,088	29,403	2,315					
		工作物等減価償却累計額	▲ 7,862	▲ 9,828	▲ 1,966	その他の固定負債	0	0	0					
	無形固定資産	0	0	0	負債の部合計	413,972	380,032	▲ 33,940						
建設仮勘定	0	0	0	正味財産	274,585	272,057	▲ 2,528							
その他の固定資産	0	0	0	正味財産の部合計	274,585	272,057	▲ 2,528							
資産の部合計	688,557	652,089	▲ 36,468	負債及び正味財産の部合計	688,557	652,089	▲ 36,468							
備考	物件費の主な支出は、光熱水費、施設の維持管理に係る保守委託料、土地賃借料である。行政収入の「使用料及び手数料」は、施設運営の委託業者からの目的外使用料であり、「その他」は同業者からの目的外使用に伴う光熱水費受入である。													

	指標	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率(%)	9	13	17.5	21.9	
	1㎡当たりコスト(円)	55,389	56,631	58,542	63,801	
	人にかかるコストの割合(%)	29	32	33.4	30.1	
備考	平成30年度は施設の管理コストのみ計上するよう変更したことにより、その前年度と比べ1㎡当たりのコストが減少し、人にかかるコストの割合が上昇したが、その後は横ばい状態で推移している。					

IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名: 整備計画)					
目標指標	指標名・単位	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度(見込み)
	団体来場者数	目標値 2,800	3,000	500	1,600	2,100
		実績値 2,086	2,061	22	1,947	
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ○ 民営化 ○ 他施設との統合 ○ 廃止 ● 現状維持 ○ その他()					
管理形態の変更の推移	○ 有 (変更内容:) ● 無					
利用者・地域のニーズ	区内におけるリサイクルの啓発活動の拠点となることが求められている。					
現状・課題	<p>○中間処理行程の見学やリサイクル工房での体験を通して、来場者に3R(リデュース・リユース・リサイクル)への関心を持ってもらう機会を提供する施設となっている。</p> <p>○通年実施の工房のほか、夏休み等の時期に子ども向け工房を実施し、好評を得ている。令和2～3年度は感染症拡大防止のため定員を縮小するなどして実施した。今後は感染症の状況を注視しながら従前の定員に少しずつ近づけるなど参加者増に向けて検討する。</p> <p>○来場者は、南千住地域からの割合が多いため、区内の各地域からの来場者拡充を図る工夫が必要である。</p> <p>○資源の中間処理を長期的に持続可能な状態とするため、施設を安定的に稼働することが必要である。</p>					
課題に対する現時点での考え	<p>○今後はリサイクルセンターを、様々な形で区の3R推進に協力いただける「3Rリーダー」の発掘・育成の拠点として活用していく。</p> <p>○地域の様々なイベントや団体と連携し、リサイクルセンターのPRと普及啓発に努める。</p> <p>○区内他地域を対象としたバス見学会等の実施を検討する。</p> <p>○資源の中間処理施設として、引き続き安定稼働できるよう運営・管理を行う。</p>					
議会、利用者等からの意見	平成28年度建設環境委員会 「普及啓発の拠点としての活用」					